

採集ノート (8)

渡辺定路*

Saxifragaceae

56. *Philadelphus coronarius* L. var. *parviflorus* Kitam. et Murata

ケバイカウツギ (ニッコウバイカウツギ) [福井県新]

母種のバイカウツギに比べて葉裏に毛の多いもの。

分布：本州（岩手から岡山、関東と中部に多い）

県内での産地：勝山市取立山 (18387), 福井市新鮎川 (13946)

57. var. *lancifolius* Kitam. et Murata シコクバイカウツギ

[福井県新]

花柱にかなりの毛のあるもの。

分布：本州（山梨、福井以西）、四国、九州

県内での産地：大野郡和泉村白馬洞 (4551), 大野市嵐 (7263), 坂井郡丸岡町丈競山 (9246),
大飯郡高浜町青葉山 (9412)

58. var. × *kiotensis* Kitam. アイノコバイカウツギ

[福井県新]

ケバイカウツギとシコクバイカウツギの雑種と思われるもので、花柱に少し伏毛、葉裏に毛がある。

分布：本州（福井県、近畿、中国）

県内での産地：丹生郡越廻村大味 (4199・5095), 越前町牛房平 (20467・21054), 敦賀市
金ヶ崎 (20514), 三方郡三方町常神 (10366・10367)

バイカウツギ属の検索表

A 1 葉は無毛、又は裏面の脈腋にのみ少し毛がある。

B₁ 花柱は無毛……………バイカウツギ

B₂ 花柱に伏毛がある……………シコクバイカウツギ

A 2 葉は両面又は裏面にのみ毛がある。

B₁ 花柱に毛が少しある……………アイノコバイカウツギ

B₂ 花柱は無毛……………ケバイカウツギ

海岸近くに自生するバイカウツギは、アイノコバイカウツギが多いが、ケバイカウツギ
(新鮎川) も見られるので、1株1株丹念に見る必要がある。

59. *Astilbe thunbergii* Miq. var. *formosa* Ohwi

ハナチダケサシ (ミヤマチダケサシ) [福井県新]

根茎は横にはうか斜上して走出枝を出す。花茎は高さ40～70cm、頂小葉は卵形で、先端は尾状、
縁には欠刻状の重鋸歯がある。花序は側枝がよく分枝して円錐状となり、花を密につける。がく
裂片は長さ約1cm (約1.5cm), 花弁は上部はさじ形で下部は糸状 (さじ形) である。()

* 福井県立道守高等学校

内はトリアシショウマである。

分布：本州中部の温帯上部から亜高山

県内での産地：勝山市法恩寺山(13433), 大野市三の峯(16966・20100・25386), 赤兎山(5615),

釈子岳(23430), 経ヶ岳(25923・25928), 今立郡池田町部子山(16053)

本種が気になりだしたのは、昭和50年9月15日に武生高校山岳部の生徒と法恩寺山に行った時からで、トリアシショウマにしてもチダケサシにしてもおかしいと思っていた。57年に日本の野生植物、草本Ⅱを見てハナチダケサシは根茎を見れば一目瞭然であることを知り、今年は三の峯、経ヶ岳でよい標本が得られ、確認できた。

60. *Chrysosplenium ramosum* Maxim. マルバネコノメソウ [福井県新]

谷間の陰湿地に生え、花茎の基部から花後多数の走出枝を出す。走出枝は細く、分枝し、淡緑色で白色の毛を散生し、葉を対生する。茎には軟毛があり、がく裂片は花時には平開する。雄しへはがく裂片より明らかに短い(がく裂片の長さ $\frac{1}{2}$ ~ $\frac{2}{3}$)。朔果の嘴は斜開する。

分布：北海道、本州(近畿以北)、朝鮮、中国、ウスリー、アムール

県内での産地：大野市銀杏峰(24102), 林幸子氏採集(1983.5/15)

61. *Saxifraga fortunei* Hook. fil. var. *obtusocuneata* Nakai

ウチワダイモンジソウ [福井県新]

ダイモンジソウの変種で、葉は倒卵形、基部はくさび形で、3~7浅~中裂するもの。

分布：本州、九州の暖帶

県内での産地：坂井郡丸岡町丈競山(25489)稀に見られる。

Oxalidaceae [カタバミ科]

62. *Oxalis acetosella* Linn. var. *longicapsula* Terao ヒヨウノセンカタバミ [福井県新]

一見ミヤマカタバミに似ているが、根茎は細長く伸び、古い葉柄の基部は密集しない。小葉はミヤマカタバミに比べて大形で、かどは円形、花弁は長さ14~18粂、朔果はミヤマカタバミと同じような長だ円形になる。エゾミヤマカタバミはコミヤマカタバミの単に大型になったもので、ヒヨウノセンカタバミとは異なる。

分布：北海道西南部。本州(日本海側のブナ林)

県内での産地：大野市赤兎山(7020・13295), 刈込池(13801・25806), 荒島岳(5057・5712・13050), 倉又山(10900・14072・15362), 勝山市取立山(5503・6517), 大長山(5332・23125・24109・24110・24113), 小原峠(16905・16906・24111・24974), 今立郡冠山(12983・17331), 部子山(15280・15301・23866), 南条郡今庄町金草岳(24108)

今後嶺南のブナ帯に自生するかどうか、よく注意したい。

コミヤマカタバミ類の検索表

A₁ 根茎は太く、密に古い葉柄の基部に被われる。小葉のかどは鈍端。花弁は長さ14~18mm, 朔果はだ円形で長さ10~17mm.....ミヤマカタバミ

A₂ 根茎は細長く伸び、古い葉柄の基部は密集しない。小葉のかどは円形、花弁は長さ9~14mm

B₁ 朔果は卵球形で、長さ3~4mm.....コミヤマカタバミ

B₂ 育花は長だ円形で、長さ10~15mm……………ヒヨウノセンカタバミ

Oxalis acetosella Linn. (コミヤマカタバミ) の県内での産地：大野市三の峯 (4113・15606
・16918~16922・16980), 赤兎山 (6715), 経ヶ岳 (9488), 倉又山 (10900・11421・15353
・15376), 勝山市取立山 (21264), 今立郡池田町冠山 (5585・6318), 南条郡今庄町金草岳 (24107)

Onagraceae [アカバナ科]

63. *Epilobium palustre* Linn. var. *lavandulaefolium* Lecog et Lamotte

ホソバアカバナ [福井県新]

ヒメアカバナに似ているが、葉に小さい鋸歯がないことや、枝わかれが多いので、エダウチアカバナかなと長い期間気になっていた。この度、京大の村田先生に同定をお願いしたところ、ホソバアカバナとのご返事を頂いた。

分布：北海道、本州（中部以北）

県内での産地：大野市能郷白山 (10932・10933・10934) 1972 8/1, 三の峯にもあるように思うが、今後研究していきたい。

64. *Ludwigia greatrexii* Hara ウスゲチョウジタデ

[福井県新]

チョウジタデに似ているが、茎には細毛がある。葉はとくに幼時には両面に細毛があり、子房に圧毛がある。がく片は3~4mm (チョウジタデは2~3mm) と少し長い。

分布：本州（関東以西）、九州

県内での産地：三方郡三方町井崎（三方駅の近く）(17560) 1979. 9/9

若狭にはばつばつ自生しているのではないかと思うが、皆さんも注意して下さい。

Leguminosae [マメ科]

65. *Vicia nipponica* Matsum. ヨツバハギ

[福井県新]

高さ30~50cmの草本。葉は4~8枚の小葉を対生し、葉軸の先端は巻ひげとなるか、小突起に終わる。托葉は半切卵形で、歯牙がありやや大きい。花期は7月10月。花は紅紫色~青紫色。豆果は無毛で、長さ3~4.5cm, 幅6~7mm, 3~5個の種子がはいっている。

分布：北海道、本州（太平洋側）、四国、九州、朝鮮、中国

県内での産地：大飯郡高浜町和田 (24103) 1983. 10/3 林幸子氏採集

66. *Lespedeza thunbergii* Nakai var. *acutifolia* Hiyama et Murata

ケハギ [福井県新]

小葉の成葉の表面は無毛で、ミヤギノハギに似ているが、茎に開出毛がある。

分布：本州（奥羽~滋賀），主に日本海側

県内での産地：坂井郡丸岡町丈競山 (10966) 1972. 8/31 吉田郡永平寺町冠岳 (25693 · 25694) 1984. 9/11

67. *Melilotus alba* Medicus シロバナシナガワハギ

[福井県新]

中央アジア原産の帰化植物。弘化2年(1845)に渡来の記録がある。花が白色（シナガワハギは黄色）であるのですぐ区別できる。牧草として栽培されることもある。

分布：全国所々に散発的に野生化。

県内での産地：敦賀市東洋紡近くの空地(23078) 1986.6/19 谷口（小牧カマボコ工場横の空地）(24912) 1984.7/11

Asplidiaceae [オシダ科]

68. *Diplazium sibiricum* var. *glabrum* × *squamigerum* ミヤマキヨタキ [福井県新]
ミヤマシダとキヨタキシダの雑種。ミヤマシダは県内ではまだ発見されていない。ミヤマシダの根茎は長くはう（キヨタキシダの根茎は斜上するか短くはう）。葉柄下部の鱗片は茶褐色～黒褐色で光沢があり、広披針形で辺にわずかであるがはっきりした突起を持つ（褐色で披針形辺に短い突起を持つ）。小羽片は羽状深～全裂し、裂片の幅4～5mm（小羽片は羽状浅～深裂し、裂片の幅は約5mm以上）。

本種の根茎は横にはい、葉柄の鱗片は褐色～黒褐色のもじる。小羽片は羽状深～全裂し、裂片の幅は殆んど4～5mmである。

分布：本州中部以北

県内での産地：今立郡池田町部子山(23863) 1983.9/18，大野市経ヶ岳池の大沢(25910)
1984.9/24

69. *Polystichum* × *utsumii* Kurata ハリマイノデ [福井県新]
葉面には光沢はなく、ソーラスのつき方はサイゴクイノデとほとんど一致し、中、下部羽片では小羽片の耳部上下縁に優占的に生じ、ただ、幾分小羽辺の縁辺より内方に生じている。葉軸裏面の中、下部の鱗片は幅広く、卵形～長卵形で、葉軸の最下部を除けばこの鱗片はサカゲノイデ式に下向に圧着している。

分布：本州（中部地方西），四国

県内での産地：南条郡今庄町吉木(22500) 1982.10/3

70. *Woodsia macrochlaena* Mett. ex Kuhn コガネシダ [福井県新]
山中の岩上に生える夏緑性のシダ。短く横たわった根茎から葉が集って出る。葉柄の頂端近くに関節構造があつて折れやすくなっている。葉面には表裏ともやや密に毛がある。ソーラスは裂片の辺縁に近く、包膜は椀形に胞子のう群を包みこみ、その縁は不規則に裂けて縁毛をつくる。

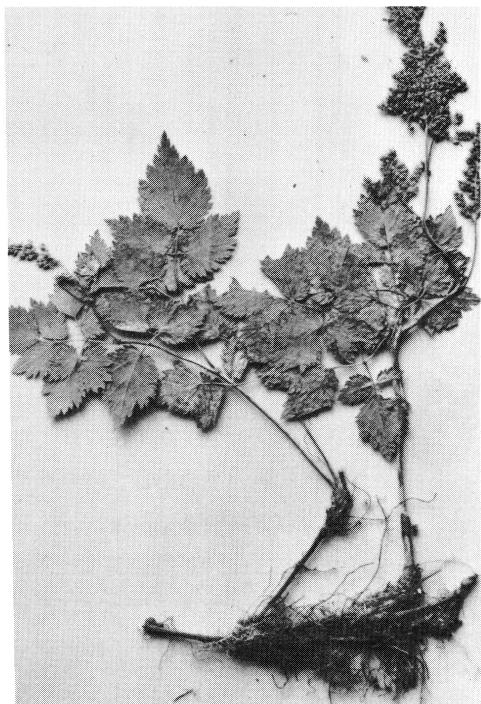
Aspleniaceae [チャセンシダ科]

71. *Asplenium pseudo-wilfordii* Tagawa オクタマシダ [福井県新]
山地林下の樹幹、岩上に生える常緑性のシダ。一つ谷では谷川の崖の縁に生えていたカシの樹幹上に1株着生していた。私一人なら到底採集できなかつたが、同行の吹矢先生の努力により採集することができた。

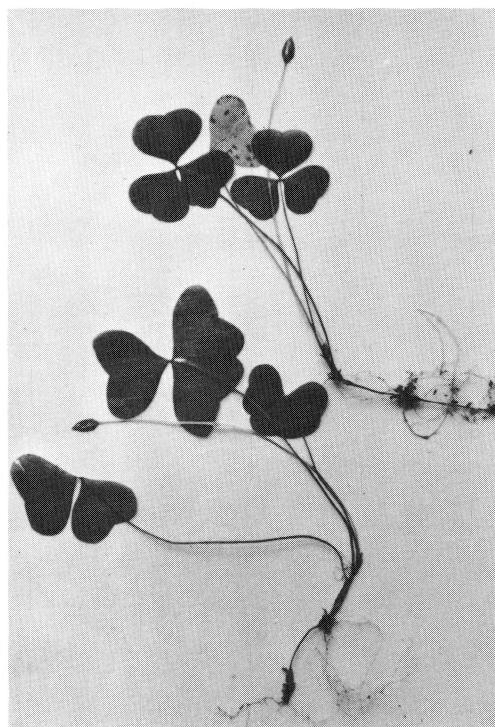
分布：本州（福島県以西の太平洋側），四国

県内での産地：遠敷郡名田庄村一つ谷国有林(22000) 1982.8/26

採集ノート (8)



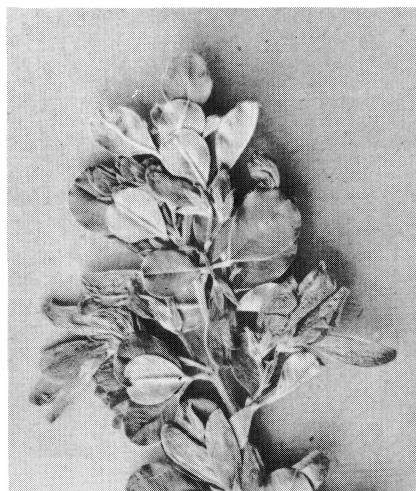
ハナチダケサシ



ヒョウノセンカタバミ

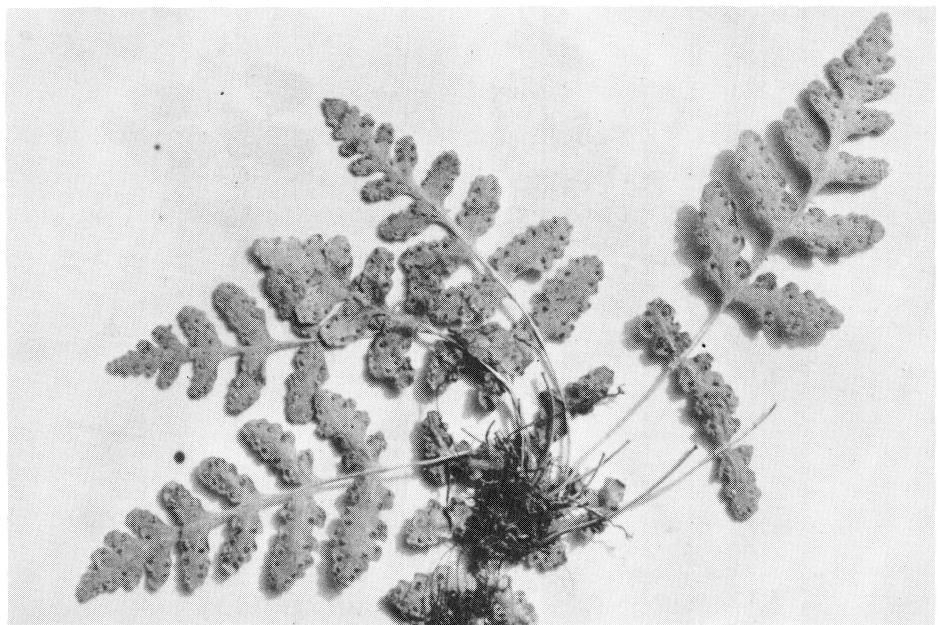


ホソバアカバナ



ケハギ（部分拡大）

渡辺定路



コガネシダ



オクタマシダ